

## 高見澤文雄君の作品が「シンビズム5展」に

上原 昇 (2組)

同期の現代美術作家、高見澤文雄君(8組)の作品展が山ノ内町の志賀高原ロマン美術館で7月1日から9月3日まで開催中です(<https://shinbism.jp/>)。

同美術館は著名な設計家、黒川紀章により長野オリンピックの時に出来上がりました。信州ミュージアム・ネットワークが選んだ作家たち11名による信州の美術館4か所で開催される当美術展は、長野県の現代美術を考える最高の機会となるものと思います。高校同期で高見澤君と美術班で一緒だった澤崎健一君(3組)から、高見澤君の作品についてコメントをいただきました。

「高見澤については今回選ばれた11人の現代美術作家の中では最年長。大学(多摩美大)からすると半世紀を超える作家活動を長野県の美術館学芸員が見逃さなかったのを、友として嬉しく思っています。彼の作品の根底となる「記憶」「記録」「痕跡」「繰り返し」「重なり合い」を現代美術という稀有な世界で後期高齢者となる今も追求し続けている様は、これからこの分野を目指す後進たちには良き励みや目標になるでしょう。そういう意味でも、今展での彼の存在は大きな意義があると思います」



22年5月、高見澤君の新作をバックに、右から澤崎、神宮、高見澤、上原

(2023年7月5日記)

以上